

2026

冬

No.663

# 岡山県社会福祉



令和7年11月23日開催  
 暮らし防災フェアDWATすむろくの様子(該当記事P.10)

## 特集 special feature

社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会  
 第8次経営・活動計画(ほっとプラン) 中間評価・修正計画

### CONTENTS

県内地域福祉活動の取組レポート	6
あそびとおもちゃの研究所 あーとあーと	
県社協ニュース	8
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12



社会福祉法人  
 岡山県社会福祉協議会  
 URL: <https://www.fukushiokayama.or.jp>  
 Facebook @fukushiokayama  
 Instagram @okayamakenshakyo



（内部の連携を強化し、波及効果を高めるために）  
 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会  
**第8次経営・活動計画（ほっとプラン）**  
**中間評価・修正計画**

本会では地域共生社会の実現に向け、5ヶ年計画である第8次経営・活動計画（令和5～9年度）を策定し、各種取組を進めています。令和7年度は計画中間年にあたることから、これまでの2年間の実績とその効果等を検証し、社会情勢の変化も踏まえ、必要な見直しを行うための中間評価を実施し、4・5年次の計画修正を行いました。

この中間評価・修正計画にあたっては、本会の法人経営に関する推進方策について、より専門的な見地から検討を行う経営企画委員会により、外部評価機関として審議いただきました。

本特集に際し、計画において最優先で取り組む重点的取組の課題・今後の方向性について、経営企画委員会山本浩史委員長、水田健一常務理事・事務局長、中堅職員会議メンバーで座談会を行いましたので、ご紹介いたします。

～第8次経営・活動計画の詳細はこちらから～  
[https://www.fukushiokayama.or.jp/about/sixth\\_plan/](https://www.fukushiokayama.or.jp/about/sixth_plan/)



山本浩史経営企画委員会委員長（前列右から2人目）と県社協役職員

今後の計画について

重点的取組①  
 「コロナ禍で顕在化した支援を要する世帯に対する相談支援体制の強化を支援します」

- ・ 個別性の高い課題は社協だけでは解決困難なため、関係機関と連携し、ソーシャルアクション（社会への提言）等に取り組み必要がある。
- ・ 貸付主体が借受人を支援し続けるのは民間金融機関にはない社協の強みであり、貸して終わりではなく自立に向けたフォローアップが重要。
- ・ 次年度以降、特例貸付の事務費を活用し、市町村社協の相談支援体制強化のための先駆的モデル事業を計画している。

（山本浩史委員長）

事業間の連携については、利用者視点に立つと日常生活自立支援事業も孤独・孤立支援の一部であり、事業の縦割りを超えた連携が「内部連携」の核心であると思います。貸付の相談ケースを担当者だけで対応するのではなく、他のアプローチも検討し、複数の機関が関わり、生活全体を支えるようなケース共有の仕組みが理想だと考えます。事業ごとにプラットフォームを新設するのではなく、様々な課題を一体的に扱うプ

第8次経営・活動計画は、本会が目指す基本理念・経営理念を実現するため、4つの「経営・活動方針」を掲げ、それぞれに推進項目、目標を設定し事業を推進しています。

また、本会として部署横断的な連携・協働を図り、最優先で取り組む3つの「重点的取組」を設定し推進しています。中間評価では、この「重点的取組」を中心に、実績や効果等を検証しました。

### 重点的取組の中間評価

最優先して取り組むべき3つの重点的取組について、多角的な視点による評価（5項目4段階評価）を実施しました。

《多角的評価項目》

【実行性】計画的な事業達成 【協働性】多機関・団体との連携やネットワークの発揮 【内部連携性】組織内部での部署間等の連携  
【波及性】本会事業の理解の広がりや波及効果 【合目的性】目指すべき姿の福祉課題等への合致

重点的取組① 「コロナ禍で顕在化した支援を要する世帯に対する相談支援体制の強化を支援します」	重点的取組② 「市町村域における災害時福祉支援活動の展開を推進します」	重点的取組③ 「福祉人材の定着・確保に向け、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します」

《評価》

いずれの取組も「実行性」「合目的性」は評価3で概ね達成できている。評価が最も低かったのは、取組①②では「波及性」、取組③では「内部連携性」であり、計画推進上の課題として認識し今後特に力を注ぎ、目指すべき状態の実現に取り組む必要がある。「内部連携性」では、部署を超えた情報共有に留まらず、社会課題の解決に向けた効果的かつ戦略的な支援策の提案等を行うことが求められる。「波及性」では、本会が社会の中で果たす役割を改めて考え、福祉関係者・団体だけでなく、企業・専門職等多様な主体との連携・協働、県民を巻き込んだ取組を行い外部への波及効果を高めることが求められる。

ラットフォームが必要です。  
県社協として、市町村社協の担当者が情報交換を行う研修の場を年6回程度開催し、課題を共有する機会を提供されていますが、県社協が公式・非公式の両面で、市町村社協同士が情報共有や相談を行える場を設ける役割を担うことで、市町村社協への支援と連携強化、「波及性」につながると考えます。

**重点的取組②**  
**「市町村域における災害時福祉支援活動の展開を推進します」**

災害時には、家屋の片付け等に留まらず、被災者の生活全般の困りごとを受け止め、継続的な支援を行う「災害ボランティア・復興支援センター（※1）」の考え方を引き続き推進し、切れ目のない支援を可能にする仕組みの構築を目指す。

- 市町村圏域における多様な支援主体との関係づくりを推進する。
- マニュアルやBCP等への支援体制の明確な位置づけと可視化を推進する。
- 県域のプラットフォームとして中核的役割を担えるよう、県社協に「災害福祉支援センター（※2）」を設置し、その持続的な運営を目指す。
- 設置・運営に係る財源確保について

て、県との協議を継続して進める。  
センター設置は、行政や多様な関係機関との連携・協働を基盤とする。

（山本浩史委員長）  
BCP（事業継続計画）だけでは対応できない想定外の事態への備えが重要であり、災害時における組織の硬直化を防ぎ、柔軟な対応能力を確保することが必要です。

災害福祉支援センターの役割と平時からの要配慮者支援の重要性については、BCPは作成済みで訓練も実施しているが、職員一人ひとりが内容を理解し、主体的に動ける状態にすることが重要です。災害時の役割や必要なことをマニュアル以外にも職員が理解できるように、平時から取り組む必要があります。

今後、求められる災害福祉支援センターは、組織内部および県内の「調整役」としての機能を持ち、災害時における個別支援と全体的視点の両立が重要となります。

災害等の有事に対応するための平時からの備えについて、マニュアル作成だけでなく、それを用いた実践的な訓練やシミュレーションが重要と考えます。

関係者が互いの能力を把握し、有事の際の連携方法を事前に決定しておくことが重要です。

年に数回、関係者が集まり実践的

な訓練を行う機会を設けることが、今後の検討事項と考えます。

### 重点的取組③ 「福祉人材の定着・確保に向け、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します」

- ・福祉・介護分野における人材の定着・確保に向け、職場環境の改善支援に焦点を当てる。
- ・職場環境を整えることで、育成・定着が進み、サービスの質と職場の魅力が高まって、新たな人材も集まりやすくなるという好循環を生む。
- ・人材確保のアプローチとして、福祉分野以外との連携や内部の他部署との連携の可能性がある。
- ・他部署との連携をさらに深め、互いの調査データの分析等により具体的な改善策を話し合い、現場の課題解決に向けて取組を進める。
- ・サッカーチームとの協働企画は新しい試みであった。今後も福祉分野以外の多様な団体と協働することで、広く関心喚起を図っていく必要がある。
- ・業界全体の底上げのため、好事例の横展開などをより具体的に検討する必要がある。現場の声を基に、関係機関団体等との会議の場で実効性のある解決策を形にし、現場に届ける調整役を果たすことが重要である。



(山本浩史委員長)

人材確保の取組は、誰をターゲットにするかによって方策は大きく異なります。若者の人材確保には、待遇改善に加え、地域の魅力を高めて県外からも人材を惹きつける視点が必要です。

若者だけでなく、外国人労働者や転職を目指す方、定年退職後の高齢者の方等多様な層への戦略を立て、柔軟な働き方を許容することが人材確保に繋がる可能性があります。

福祉・介護職の金銭的対価を超えた「やりがい」や仕事の深みを言語化し伝えることが重要です。

介護の仕事は、身体的介護だけでなく、介護指導や地域活動など多岐にわたります。福祉の仕事に興味関心を持たせるため、福祉教育的事業（例・職場体験）が、将来の人材確保に結びつくよう、取組を連携することが考えられます。

「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言（※3）」事業は、施設が選ばれるためのリストに入る上で有効と考えます。

「波及性」として、岡山から好事例の全国発信となるのではないのでしょうか。



## どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導!

経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方

Q

役員選任には  
監事の  
同意が必要?

Q

監事は  
評議員会に出席  
する義務があるの?

Q

賞与引当金は  
必ずしなきゃ  
だめなの?

悩み・疑問を一斉解決!

急な  
指導監査  
でも…

・慌てない  
・困らない  
・揉めない



SCB社福サポート担当  
いしはら

## 県社協としての全体的な取組について

財源については、様々な事業があるなかで、十分な予算確保が困難な事業もあります。一方で、コロナ特例貸付関連の予算は比較的潤沢に確保されていますが、縦割り予算のため他用途への流用ができません。

来年度の計画では、コロナ特例の予算について、コロナ特例の借受人への支援を行うなかで、他の事業などにも関連付けられる柔軟な取組を検討・推進していく必要があります。

災害福祉支援センターについて、災害時における組織内の連携・協働を推進する役割を担うため、来年度の県予算要望として提出しましたが、



現状では実現が難しい状況にありま

す。平時から専門的に活動する専任の常勤職員が不可欠であると考えています。他県の災害福祉支援センターは、2〜4名程度の専任職員と関係者で構成されている事例が多く、同様の組織体制を目指して県との協議を継続する必要があります。

全体を俯瞰し調整する企画調整の必要性は認識していますが、現在の組織内の人材状況では、そのポジションを確保することは困難です。これは組織全体の状況を見ながら、今後検討すべき課題です。事業効果を高める上で、内部連携と外部への波及効果が必須であると考えています。

## 県社協へ期待すること

(山本浩史委員長)

県社協には、客観的データに基づき行政に働きかけるシンクタンク機能が求められています。

県社協への期待として、財源確保が難しい中でも実行可能な事業を模索しつつ、行政に対して説得力のある働きかけを行う能力が今後さらに重要になります。

そのためには、リサーチに基づいた客観的なデータを提示し、論理的に説得力が必要で

客観的データに基づく説得力の強化は、県社協の次の課題であると考えます。



### ※1 「災害ボランティア・復興支援センター」

これまでの市町村社協における災害ボランティアセンターの機能を拡充し、ボランティアや専門職等と協働して被災者の生活再建に向けた多様なニーズを早期に把握・支援するセンター。

### ※2 「災害福祉支援センター」

都道府県域において、社協や社会福祉施設が行う災害支援を効果的に推進し、被災者支援を円滑に進めるための民間主導による常設型の災害福祉専門機関。

### ※3 「おかやま☆フクシ・カイゴ職場 すまいる宣言」

自ら人材育成や就業環境の改善など、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組み、一定の基準を満たした福祉・介護事業所の宣言内容について確認の上、宣言事業所として登録する制度。

## 経営・活動方針の修正計画

4つの経営・活動方針に設定された目標について、評価を行うとともに必要に応じて計画の修正を行いました。

方向性の評価	項目数	経営・活動方針	「見直し・拡大」の目標	内容等
達成	1	1 住民主体の地域福祉活動を支える基盤づくりを推進します	・県域における多様な機関・団体との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「孤独・孤立対策プラットフォーム事業」の実施や「県災害福祉支援センター」設置に向けた準備等</li> <li>・身寄りのない高齢者等の支援に関する新たな事業への対応等</li> <li>・地域特性に応じた生活圏での人材マッチング支援強化等</li> <li>・本会における職員の資質向上や、働きやすい環境づくり等</li> </ul>
見直し/拡大	5	2 生活に関する包括的な相談・支援体制を推進します	・日常生活自立支援事業の体制整備	
継続	28	3 福祉サービス事業者を支え質の高い福祉人材の確保・定着を推進します	・施設法人と求職者の出会いの場の創出とマッチング機能	
見直し/縮小	0	4 法人経営・運営組織の機能を強化します	<b>【目標修正】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成基本方針に基づく職員の資質向上</li> <li>・ワークライフバランスの充実</li> <li>(有給付与日数の所得率 70% 以上)</li> </ul>	
新規	0			
中止・廃止	0			
未実施	0			
合計	34			

県内で福祉を学ぶ現役大学生が取材・レポートします！  
県内地域福祉活動の取組レポート



(中央) 所長 るーぴんさん  
岡山県立大学 現代福祉学科 3年  
奥田さん、大谷さん、宇野さん、永井さん

## あそびとおもちゃの研究所 あーとあーと

～おもちゃが育む、子どもたちの創造性～



現代の玩具は、高機能・多種多様で、子どもが主体的に遊びを展開できるとは言い難い状況にあります。また、地域の繋がりの希薄化もあり、育児に孤立感や悩みを抱える家庭も少なくありません。そこで今回は、総社市を拠点に、地域に寄り添い「魅力的な玩具」を通じて、子どもたちの創造性を育むきっかけづくりをしている、「あーとあーと」所長のるーぴんさんにお話を伺いました。

### 事業を始めたきっかけ

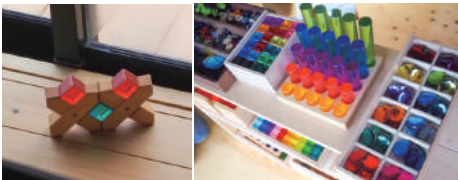
「子どもとの時間を大切にしたい」そんな気持ちからこの活動が始まりました。当時は総社市に住みながら岡山市まで通勤しており、気づけば子どもと過ごす時間がほとんどない毎日でした。そこで「家でできることってないかな？」と考えたんです。思いついたのは、子どもたちが安心して遊べる場所、そして地域のみなが集まれる場所をつくることでした。この取組は、家族との時間を守りながら、地域に笑顔とつながりを広げるきっかけになりました。

### 具体的な活動内容

- ①遊び場「あーとあーと」  
未就学児とその保護者を対象とした遊び場で、未就学児に同伴する兄弟については小学生以上でも利用可能です。定員は子ども8名予約制で運営しています。料金は1組1,000円(ワンドリンク付)です。子どもたちが安心して遊べる環境を整え、保護者同士の交流の場としても機能しています。他にご予約がなければ、貸切利用も可能です。
- ②玩具のレンタル・サブスク  
遊び場で使用している玩具は基本的に貸出可能で、家庭でも遊び場の楽しさを体験できます。
- ③カフェ「あーとカフェ」  
山田地区の焙煎所の珈琲豆を使用する等、素材にこだわり、お子様向けドリンクを提供。夏はかき氷、冬は焼き芋等、季節に合わせてメニューも楽しめます。
- ④まなびば「あーとカレッジ」  
親子で学べる講座や大人向け講座を開催。ママさん講師の認知度向上や副業支援も目的とし、地域の人材活用を進めています。
- ⑤玩具販売  
玩具の販売も開始。店頭での在庫販売に加え、注文販売にも対応し、利用者のニーズに応えています。

### 玩具のこだわり

総社市で唯一、有料で運営しており、他の事業所と差別化を図るためにも、玩具の選定にこだわっています。遊びもあるけど学びもある場にしたいと思い、扱う玩具には基準を設けています。参考にしているのは、ドイツの「シユピールグート認証\*」です。ただ、認証取得の玩具が全て国内へ輸入されている訳ではないので、認証に沿った玩具を取り入れています。選定基準は、「遊び方が決まっておらず、子どもの発達や創造性を引き出せること」、「知育に偏らず広く子どもの発達や学び、遊びを支援できること」、「文化や価値観に出会えること」、「安全性が確保されていること」、「一般家庭では手に入りにくいけど、子どもの成長にとって有意義であること」の5つです。基準に沿った玩具が並ぶ空間は、子どもたちにとって新鮮で、保護者も感動します。特に「キラキラした玩具」は人気で、遊ぶ中で自然と学びが生まれる玩具がたくさんあります。



\*シユピールグート認証：ドイツの「子供の遊びと玩具審議会」の審査による良いおもちゃとして推奨するもの。子どもの発達や創造性を重視する国際的な基準。

## 玩具が育む子どもへの効果

遊びが始まると、子どもの感性がどんどん豊かになっていきます。自然の色を取り入れた玩具は色彩感覚を養うだけでなく、「きれい」という言葉を引き出します。普段あまり使わない言葉を口にする子どもの姿に、「あの子が『きれい』と言うなんて…」と驚く保護者の声が聞こえるのは、この場ならではのことで、美しい色や形に触れることで心も育ち、汚い言葉が出ることはほとんどありません。さらに、ここでは子ども同士の学び合いが自然に生まれます。大きい子が高度な遊び方を見せると、小さい子はそれを見て真似をし始めます。同じ玩具でも組み合わせ次第でピタゴラスイッチのような仕掛けや大掛かりなドミノ、積木の限界に挑戦する等遊び方が広がります。最初は使い方が分からない玩具も、他の子の遊び方を見て学び、自分なりに工夫していきます。こうした過程で、主体性や協調性が育まれていきます。また、都会に住む子どもにとっては、外遊びも貴重な体験で、葉っぱやどんぐり、虫に触れて季節の匂いを感じることで、感性をさらに豊かにします。予約制でゆったり過ごせる環境も整っており、親子でじつ

くり遊びに向き合えるのも魅力です。玩具は単なる遊び道具ではなく、子どもの心を育てる大切な存在です。ここで過ごす時間は、子どもたちにとって「美しい心」に触れる特別な体験となっています。

## 今後に向けて

現在は2名体制で運営していますが、継続的な発展のために以下の4点を今後の展望として掲げています。1つ目に、スタッフを増員し、多様な大人が子どもに関わることで、遊び方の提案や視点を増やすことを目指しています。2つ目に持ち帰り用の軽食を提供し、生活面でのサポートも視野に入れています。また、3つ目として現在の利用状況を踏まえ、平日の利用日を増やし、日常的なインフラとしての定着を図っています。最後に、遊び方がわからない子どものために、QRコード等のデジタルツールではなく、あえて「紙媒体の絵本のような手引書」の制作を計画しています。これは、手触りや実体感を重視する活動方針の延長線上にある試みと言えます。これからも、地域のなかの子育ての拠点として様々な活動を広げていく予定です。

## 取材を終えて

当初は子どもたちの遊び場として始まった活動が、保護者の声や子どもたちの成長を考える中で、学びの場やカフェ等へと広がっていることが印象に残りました。仕事と両立しながら日常の中で子どもとの時間を十分にとることが難しい保護者の方も多いと思います。が、親子で一緒に遊び、過ごせる場所があることで、親子の時間を大切にできるきっかけになるのではないかと感じました。(大谷)

取材を通し、子どもの主体性や創造性を育むだけでなく、保護者がゆったり子どもと向き合える場の重要性を実感しました。予約制による人数調整や玩具の選定等運営の工夫が安心できる空間を生んでいます。地域にこうした場があることは、子育て家庭の支えとなり、親子の孤立を防ぐことにつながると感じました。(奥田)

普段何気なく見ていた玩具が子どもにたくさん影響を与えていると知り、驚きました。玩具を通して感性が豊かになり、年齢の違う子ども同士が関わることでお互いの成長を促すことができるようになりました。今回は海外の玩具を拝見しましたが、今回学んだ玩具

の視点をもって日本の玩具も見てみたいと思いました。(宇野)

取材を通して、子育て支援は制度だけでなく人とのつながりによって成り立っているのだと学ぶことができました。あーとあーとではスタッフの方の声かけや考え一つひとつに、遊びに来る子どもや保護者への配慮が感じられ、利用者との信頼関係が自然に築かれました。大学生の私にとって、地域福祉を身近に考える貴重な機会となりました。(永井)



## ◆お問い合わせ先

あそびとおもちゃの研究所  
あーとあーと

総社市山田2145  
090-1273-6150

第37回全国健康福祉祭ぎふ大会  
「ねんりんピック岐阜2025」参加報告

【令和7年10月18日(土)～21日(火)】

全国の60歳以上の選手を対象としたスポーツと文化の祭典「ねんりんピック」が、岐阜県で開催されました。

31種目の交流大会が開催され、岡山県からは19種目、総勢134名が参加しました。

本会では、県内の競技団体から推薦いただいた選手を派遣しています。

岐阜県内の各会場で開催された交流大会では、日頃の活動の成果を発揮するとともに、全国から集まった選手と交流を深めました。

総合開会式



現在の岐阜県不破郡関ヶ原町で行われた合戦「関ヶ原の戦い」をモチーフに、ほら貝を合図に、甲冑姿の先導隊に続いて入場行進を行いました。



岡山県選手団の上位入賞種目

●団体

種目	チーム名	成績
卓球	ももっち	優秀賞 (第1位グループ)
ペタンク	備前クラブ	準優勝
サッカー	シニア岡山FC	第3位 (区分：Mブロック)
ソフトバレーボール	わくわく倉敷	第3位 (区分：Dブロック1位グループ)
太極拳	美作協会チーム	準優勝

●個人

種目	チーム名	成績
水泳	土井 美智江	第1位 (50 m) 77歳 80～84歳女性)
		第1位 (25 m) 77歳 80～84歳女性)
	守屋 智子	第2位 (50 m) 77歳 65～69歳女性)
ターゲット・バードゴルフ	岡本 保規	準優勝 (区分：男子シニアの部)
将棋	松永 唯夫	第3位 (区分：穂高岳ブロック)

岡山県選手団は、ペタンク(写真上)と太極拳(写真下)が準優勝に輝く等、優秀な成績を収めました。



次回は埼玉県で開催されます。

結団壮行式



10月17日(金)に岡山駅で結団壮行式を開催しました。選手を代表して健康マージャンの木村真智子さんが「県代表としての自覚と自信を持ち、精一杯頑張ります。」と決意表明を行いました。

【お問い合わせ先】  
地域福祉部 長寿社会推進センター  
☎086-226-2835



「働きやすさ」を法人の強みに  
『おかげさまで笑顔が広がる笑顔』  
「おかげさまで笑顔が広がる笑顔」  
「おかげさまで笑顔が広がる笑顔」

▼登録拡大中！

福祉・介護の現場で働く人が、笑顔で安心して働き続けられる環境をつくる。岡山県が推進する『おかげさまで笑顔が広がる笑顔』は、その想いをカタチにする制度です。

本制度の意義は、各法人の取組を「見える化」し、法人同士が良い刺激を受け合い岡山県全体の福祉・介護業界の質を底上げしていくことにあります。

今年度前期には、2法人が更新、新規に3法人が登録され、現在42法人584事業所が登録されています。

▼若手が発信！宣言法人の魅力  
すまいる宣言法人の魅力を現場の目線で伝えてくれるのが、登録法人の若手職員で構成される広報部「team smile（チームスマイル）」です。

彼らは各イベント等を通じて、実際の働き方や仕事のやりがいを若手職員の視点で発信しています。



制度という枠組みだけでなく、そこで働く職員の生き生きとした姿が福祉・介護業界への関心を高める大きな後押しとなっています。

▼まずは「スタート応援相談」へ登録申請の受付は、毎年4月（前期）と10月（後期）の2回行われます。次回の令和8年度前期受付は、4月1日から4月30日となります。

「すまいる宣言」への登録は自法人の職場環境を見つめ直す貴重なプロセスでもあります。実際に申請法人の多くが「あらためて自分たちの強みを確認できてよかった」と話されています。

一方で不安の声もお聞きます。

▼スタート応援相談【無料】／

- ・相談内容例  
制度内容の解説、他法人の事例紹介、今ある仕組みの整理や準備のポイント等
- ・実施方法：対面・オンライン・電話
- ・日時：毎月第3水曜日  
13:00～14:00  
(原則5日前までにお申込ください)

そこで活用していただきたいのが、毎月1回実施している専門アドバイザー（社会保険労務士）による「スタート応援相談」です。

個別相談ならではの各法人の状況に合わせた丁寧なサポートが受けられます。

まずはスタート応援相談を活用し、登録に向けた一歩を踏み出してみませんか。



【お問い合わせ先】

福祉支援部 福祉人材支援班  
(岡山県福祉人材センター)  
☎086-2226-13507

楽しく、心地よく働ける介護職のお仕事を探します。 医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ



RISUCO  
話そうよ 咲かそうよ

医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル8階

【厚生労働省許可番号】紹介 (33-U-300017) 派遣 (派33-300044)

0120-235-565

電話受付／平日9:00～18:00 [https:// www.risuco.com](https://www.risuco.com)



県内の防災イベントで  
DWAATすごろくを実施

令和7年11月23日に開催された「くらしき防災フェア」及び24日に開催された「浅口市防災フェア」において、岡山DWAAT（災害派遣福祉チーム）の広報ブースを出展しました。

ブースではチーム員の皆さんとともに「DWAATすごろく」を実施しました。大きなサイコロを振ってゴールを目指しつつ、止まった目に設置してあるDWAATに関するクイズに答えていただき、楽しみながらDWAATの活動や災害福祉支援について知っていただくための体験型プログラムです。



ブースには常に長蛇の列ができており、くらしき防災フェアでは約650名、浅口市防災フェアでは約300名と、親子連れの来場者を中心に多くの方に参加していただきました。参加者からは「DWAATの活動を初めて知った」「将来、福祉の仕事に就いてDWAATとして活動したい」と言った声がかれましました。

DWAATの存在や活動について、一人でも多くの方に知っていただけるよう、平時からの広報・啓発活動を今後も続けていきたいと思えます。

【お問い合わせ先】  
地域福祉部 経営支援班  
☎086-1226-13529

## NITORI BUSINESS

ニトリの法人様向け事業  
グランフロント大阪ショールーム  
【TEL:050-1712-3990】  
グランフロント大阪北館3F  
大阪府大阪市北区大深町3-1  
※上記の他、全国に21事業所がございます。

# 施設向け家具も「お、ねだん以上。」

お見積りいたします。お近くのショールームまでご連絡ください。

オフィス

共用空間

居室空間

お見積り無料

施設全体のコーディネート  
ご提案いたします。

法人事業ホームページに  
納品事例ございます。  
ニトリ ビジネス

お車の共済のことなら!

## 西日本自動車共済協同組合

お見積り、事故のご相談、すべて無料！  
お気軽にご連絡下さい。

**岡山県支部**  
〒700-0927 岡山市北区西古松 237-126 松本ビル 3F  
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

**【本部】**福岡市博多区東比恵 2-15-25  
TEL: 092-441-5901

NJ730.2103.0213.999999

● 各種広告看板・各種インクジェット出力・POP ●

美術工房

# エエド

（公財）全日本広告連盟加盟 岡山県屋外広告美術共同組合員

TEL086-271-4410 (代)  
FAX086-271-4412  
〒703-8251 岡山市中区竹田17-13

# 赤い羽根共同募金



岡山県共同募金会

## 歳末たすけあいへのご協力ありがとうございました

新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるようにと、全国一斉に歳末たすけあい運動を実施しました。

12月22日には、岡山駅西口ひかりの広場（リットシティビル内）にて、「NHK 歳末たすけあい配分交付式」を開催し、福祉関係団体（13団体）に対し、第一次配分として、慰問や集い等の活動に296万円を配分しました。

温かいお気持ちのこもった募金をお寄せいただき、ありがとうございました。



## 「地域ささえあいプロジェクト」 2月28日まで実施中です

本プロジェクトは、地域の様々な福祉課題の解決に取り組んでいるNPO法人等と協働して、課題解決の必要性を広く県民の皆様へアピールしながら、各団体の活動に必要な資金を募集するものです。

プロジェクト参加団体の活動にご賛同いただける方は、各団体専用の払込取扱票により、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にて、2月28日までに寄付金の振込をお願いいたします。

(振込手数料・硬貨手数料無料)

なお、払込取扱票は各プロジェクト参加団体又は岡山県共同募金会 (TEL: 086-223-0065 / MAIL: info@akaihane-okayama.or.jp) に用意しておりますので、お問い合わせください。

詳しくは  
本会 HPへ



資金ボランティアとしてご協力をお願いします。

4月期まで5日以内でもご寄付ください。お申し込み後、年額1万円を超過する場合は、追加の振込が必要となります。お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。

ぜひボランティア活動を通じて、いじめや虐待に悩む子どもたちの心へ、ご支援をお願いします。

人の助け合いで、生き生きとした社会をつくりだそう。私たちも一緒です。

ご協力をお願いします。

代表理事 岡山いのちの電話協会 事務局  
〒700-0001 岡山県北区内山手町1-1-1  
ホームページ: www.ichinotelephone.or.jp

岡山いのちの電話協会 相談電話 (086) 245-4343

岡山いのちの電話協会  
TEL 086-245-4344

被害者サポートセンターおかやま

被害者サポートセンターおかやま (VBCO)  
TEL 086-223-5564

被害者サポートセンターおかやま  
TEL 086-223-5564

NPO法人チャイルドラインおかやま

子どもたちの声かけ

チャイルドラインおかやま  
TEL 086-956-3700

チャイルドラインおかやま  
TEL 086-956-3700

子どもシェルターモモ

子どもシェルターモモ  
TEL 086-206-2423

子どもシェルターモモ  
TEL 086-206-2423

「困った時はあたがいさま!」ではじめる互助システム

ふれあいたすけ愛サービス事業

ハーモニーネット未来  
TEL 0865-63-4970

ハーモニーネット未来  
TEL 0865-63-4970

子どもソーシャルワークセンターつばさ

子どもソーシャルワークセンターつばさ  
TEL 080-2903-6612

子どもソーシャルワークセンターつばさ  
TEL 080-2903-6612

岡山子どもセンター

岡山子どもセンター  
TEL 086-242-1810

岡山市子どもセンター  
TEL 086-242-1810

どんな時も「大丈夫!」と伝えたい!!

CAP プロジェクトおかやま  
TEL 080-6339-9740

CAP プロジェクトおかやま  
TEL 080-6339-9740

基金へのご協力をお願いします

東備子どもNPOセンター  
TEL 0869-92-4576

東備子どもNPOセンター  
TEL 0869-92-4576



一般社団法人 土屋雉翔会  
はれのくに在宅クリニック 杜の街  
代表理事 / 院長  
**入江 真大さん**

「地域と多職種のつながりが  
生み出す、質の高い在宅療養」



**ふくしの仕事に就いたきつかけを教えてください**

岡山大学医学部に進学し、大学院在学中に長島愛生園や慢性期病院で長期療養の支援に携わる機会がありました。その中で、「在宅での介護力・看護力の不足による退院困難」という現実にも直面しました。また病院医療の限界や福祉制度を活用した療養の重要性を感じました。そうした折に、幅広く在宅介護を支える事業を展開していた株式会社土屋と出会い、この課題を解決すべく、在宅療養を支える訪問診療のクリニックを立ち上げ、医師として働いています。

**現在の仕事内容について教えてください**

24時間対応の訪問診療を中心に医療提供を行っています。日々の診療は、朝のミーティング後、午前・午後に分けて患者さんのご自宅や施設を訪問し、1日あたり計6〜8件を担当しています。また、クリニックと同じ敷地内にあるこども園の病児保育事業において、利用前の診察も担当しています。

**仕事を行う上で大事にしていることがあれば教えてください**

仕事の核となる考え方は「多職種連携」です。特に在宅チーム内のコミュニケーションを大切にしています。多職種チームで患者さんをサポート

トすることで、より質の高い支援につながります。在宅医療の現場では専門職が一堂に会する機会が少ないため、連携用アプリによる情報共有に加え、直接顔を合わせる機会を意識して設けています。

他の法人の専門職が関わる事で、クリニック単独の能力を超え、患者さんがより質の高い在宅療養生活を送れたり、前向きになれたりする時には、非常にやりがいを感じます。経験上、連携や繋がりで解決できることが多いと思っています。現場レベルでの人脈があるので悩んだらぜひ相談にきてください。

**今後について**

地域共生を念頭に置いたNPO法人の立ち上げと、多職種連携のさらなる強化を目標としています。クリニックとしては、訪問診療が届いていない地域の方々へ、オンラインも活用した医療的な助言や支援を広げていく計画です。

**〇次号の「ふくし」の仕事人**

次号は入江さんよりご紹介いただいた方にお話を伺います。次号もお楽しみに！

【お問い合わせ先】  
一般社団法人 土屋雉翔会  
はれのくに在宅クリニック 杜の街  
岡山県北区下石井2丁目10番8号  
☎：086123617750



機関紙「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください!

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階

岡山県社会福祉協議会 広報班

■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

